

# あつぎ郷土博物館NEWS5月号

好評  
開催中

「小鮎地域展」(~6/21)が始まりました！

## 再発見 養蚕功労者・外山亀太郎

今回で5回目となる「地域展」、小鮎地域が対象ですが、ご覧いただけただでしょうか。小鮎村出身の農学博士・外山亀太郎とやまかめたろう(1867-1917)を紹介します。その功績、先進性が十分に伺える『大日本蚕系会報』さんぎょう『蚕業新報』等の関係雑誌を展示いたしました。

近年では外山亀太郎の名前を聞くことも少なくなりましたが、日本の養蚕業は外山のおかげで下表のとおり長足の進歩を遂げました。明治時代と比べ、飼育日数は10日短く、しかも採れる絹糸は倍以上の長さになっています。繭全体から蛹の割合をひいた生糸量割合は、なんと2倍です。これは、外山が、メンデルの法則を養蚕に導入、「雑種強勢」を進めた結果であり、日本蚕系界発展の礎いしづえを築いた大恩人といわれる所以です。



外山が推進した雑種強勢とは「交雑種において、成長速度、大きさ、生存率、生産性が、両親の系統より勝っている現象」のことです。養蚕へのメリットは、①産卵数増加、②経過短縮、③強健、④繭重けんじゅう、繭産量けんさんりょう、収繭量しゅうけんりょうの増大などがあります。逆にデメリットとしては、不均衡な玉繭が多くなることが分かりました。

外山は、特に「一代雑種」を推奨しましたが、これは次の理由によります。

- 最も雑種強勢が強い
- 原種は産卵数が少ない
- 経過がより短い

\*

●繭の品質に見る日本の養蚕業 進歩の様子

小鮎地区は厚木の中では奥まった感じのする地域ですが、パイオニア的な面を持つ人物が輩出されました。何が地域に新しい情報をもたらしたのか、その地域特性は何に起因するのでしょうか。他の分野ではどうなのか、展示室でチェックしてみてもいいでしょうか。

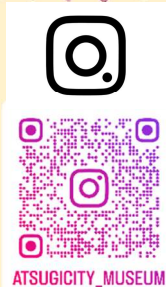
	飼育日数	重量(g)	長さ(m)	生糸量割合(%)
明治	34.17	1.20	598	10.5
大正	29.07	1.57	780	12.4
昭和	28.16	1.70	982	14.6
平成	23.03	2.20	1,300	20.8

## あつぎ郷土博物館 5月の予定

日	曜日	行事内容	講師等	時間
博物館が一つの地域に取り組む「小鮎地域展」が始まりました *毎週土曜は13時半から担当学芸員が、土曜ギャラリートークを実施!				
2	土	地域展ギャラリートーク 小鮎	当館学芸員	13:30 ～14:00
9	土	地域展ギャラリートーク 小鮎	当館学芸員	13:30 ～14:00
14	木	あつぎの古文書解読会 <参加自由>	古文書解読会 会員	13:00 ～16:00
16	土	地域展ギャラリートーク 小鮎	当館学芸員	13:30 ～14:00
21	木	あつぎの古文書解読会 <参加自由>	古文書解読会 会員	13:00 ～16:00
23	土	地域展ギャラリートーク 小鮎	当館学芸員	13:30 ～14:00
25	月	休館日		
28	木	あつぎの古文書解読会 <参加自由>	古文書解読会 会員	13:00 ～16:00

SNS  
情報文化魅力創造課の  
Instagram & Facebook

あつぎ郷土博物館では、広報あつぎ、ホームページ以外にも、Instagram と Facebook で情報発信を行っております。展示や講座情報に加えて、学芸員のお仕事の様子や博物館での出来事などの情報を発信しておりますのでぜひご覧ください。



- あつぎ郷土博物館 開館時間 午前9時から午後5時まで(入館は午後4時30分まで)  
休館日 毎月最終月曜日 年末年始(12/29～1/3)
- 古民家岸邸 開館時間 午前10時から午後5時まで(入館は午後4時30分まで)  
休館日 月曜日・火曜日(祝日の場合は翌平日)、12/25～1/5



(申込み・問合せ) あつぎ郷土博物館  
〒243-0206 厚木市下川入1366-4 電話 046-225-2515  
Mail [8650-3@city.atsugi.kanagawa.jp](mailto:8650-3@city.atsugi.kanagawa.jp) FAX 046-246-3005